

ペットを飼うことには、  
「一生面倒をみる」という  
飼う責任があります。  
あなたの貴重な労力が  
必要不可欠なのです。

あなたが想像している犬は「おしつこやうんちは決められた場所以外に決してしないお利口さん。頭が良くて言いつけは必ず守る。無駄吠えなどなくいつも飼い主に愛嬌を振りまいて楽しませてくれる。人を噛むなどんでもない!」といった感じではないでしょうか? 断言しますがペットシヨップではあなたが理想としているような犬は決して売っていません。ペットを自分の理想的なコンパニオンにするのは飼い主の仕事です。それにはまず親となる飼い主が勉強して、犬と生活するには何が必要なかを頭に叩き込まなければ適切な補助はできません。犬にしつけを施す場合、すなわち犬にある一定の行動を学習させる場合、理論的には快を与える方法と不快を与える方法があります。しかし結論から言うと、犬のしつけは「ほめて育てる」が基本です。



犬の寿命は犬種によってもさまざまですが、健康で安全な環境だと比較的長く家族として暮らせる動物です。犬を飼うということは、その犬の面倒を一生みるということ。食事はもちろん、散歩や排せつ物の処理、しつけ、安全管理、病気の予防などすべてが命を預かる飼い主の責任です。

5年後、10年後の散歩などの生活シーンを想像してみてください。犬と暮らす毎日はとても素敵なものですが、犬を理解せずに飼いはじめると悲劇がおこる場合があります。飼う前にきちんと情報を集めて検討してください。

## 愛犬の食事について

いつの頃からでしょうか? 「犬を飼ったらドッグフード」と誰もが思うようになったのは、僕はドッグフードや総合栄養食以外の食事もおススメしています。それはドッグフードや総合栄養食には欠点があるので、それを理解した上で活用されることをおススメしています。ペットは人間よりも身体が小さくて、人間の6倍以上のスピードで成長していて、化学合成添加物の影響を受けやすいのです。食事が細胞をそして身体を創っていくのです。できれば完全無添加のドッグフードを選びましょう。

### 酵素や有用菌

保存がきくドッグフードはドライや缶詰にするため高熱処理をしているので、食べ物に含まれる【食物酵素】が熱処理で破壊されてしまいます。食べ物に含まれる【食物酵素】が少ないと、不足を補うために多くの酵素を作らねばなりません。生物が生きている間に生産できる酵素量は決まっていますので、体内の酵素のバランスが崩れた時に、呼吸、消化・解毒・代謝・免疫など命を守る機能が低下します。有用菌によって消化器系のバランスを整えたり、自己免疫力を維持向上してくれます。

### 水分補給

体内の老廃物を体外へ排出するためには水分補給が重要であり、我々人間も一日2リットルの水分補給を勧められています。ペットも同様でペットフードがドライフードの場合、この水分補給が不足になりがちなのです。フードにお水やスープ、ミルク、野菜ジュースなどをかけて、食事をしながら水分補給することを推奨しています。僕達も食事中に水やスープを飲んで流し込みますよね。>

特にスープやミルク、ジュース(塩分糖分無し)などはおススメで、スープやミルクからも栄養がとれますし、食欲がおちる夏場や病後などは、フードのような固形物が食べにくいときでも、スープ・ミルクから胃腸に負担をかけない栄養吸収ができるからです。

### 多くの食材摂取

人間でも多くの食材を摂れと言われてますが、僕はペットも同様と考えています。対策としては、無添加ドッグフードの「回転食」や「混合食」をおススメしています。「回転食」とは、食材の種類の異なる「無添加ドッグフード」を、順番に変更してローテーションさせながら食べさせる方法で、「混合食」は混ぜてあげる方法です。または、お気に入りのドッグフードをベースに、野菜やお肉などのトッピングをしてあげることで、より多くの食材を食べて、お気に入りのドッグフードに含まれていない栄養素を吸収することができます。「家庭の食材を使用するのでもいいですし、生の野菜や動物性タンパクなどトッピングしてあげれば酵素も補充できます。

### 個体差

ペットにも個体差がありますので、個体差を補うためにアレンジやトッピングは有効だと考えます。例えば毛艶がなかったら新鮮なオイルをかけてあげたり、病中病後だったら胃腸に負担をかけないで栄養吸収ができるスープやミルクを利用するなどです。

### ドッグフードを工場からキッチンへ

オーナーがフードに手を加える事は、オーナーが愛犬の食事を通じて健康に関して興味を持つことであり、それを通じてオーナーと愛犬の絆が深まるので大賛成なんです。【工業製品】から、キッチンでオーナーが考えてアレンジする【食事】にしてあげて、「オーナーの愛情というエッセンス」を付けてあげましょう。